

令和4年度第5回常滑市教育委員会定例会

令和4年8月18日(木)

午後1時30分

市役所1階 会議室F

1 開会 午後1時30分

2 前回定例会会議録の承認

「承認」

3 会議録署名者の指名

「久田孝寛委員」

4 出席委員

藤田幸恵委員、渡辺慶太郎委員、久田孝寛委員、梶田幸司委員、土方宗広教育長

5 欠席委員

なし

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、7月20日の定例会以降の教育委員会の主な動きをご報告いたします。

まず、7月23日は、地域未来塾「数学克服クラス」の初日でした。申込者数は中1コースは21名、中2コースは20名、中3コースは6名の計47名でした。実施日数は夏休みの土曜日、日曜日の10日間を予定しており、すでに6日間が終了しました。この6日間における参加率は毎回70パーセント程度です。最終日の28日に参加生徒に対して匿名によるアンケートを実施して、その結果を基に評価を行い、今後の在り方について考えていきたいと思っております。

27日には、市議会協議会が開催されましたが、教育委員会に直接関連するものはございませんでした。

28日には、第1回社会教育委員会を開催しました。12名の委員の中から委員長には佐藤 融（とおる）さん、副委員長には伊藤 豊（ゆたか）さんが選出された後、生涯学習事業、社会体育事業における昨年度の事業報告と今年度の事業計画を主な議題として話し合いが行われました。委員の皆様からは「世界に目を向けた子供を育てる必要性」や「市内の公共施設の情報環境のさらなる整備・充実」、「国際交流の推進」、「とこなめ芸術祭2022のアピール強化」などの意見が出され、有意義な話し合いとなりました。

31日には、とこなめ芸術祭2022の開会式に教育部長とともに出席しました。開会式に出席し、あらためてとこなめ芸術祭2022を企画・準備・運営に携わった皆様方が「常滑の芸術文化を市外の多くの人たちに知ってもらおう」という熱い思いをもっていることを感じました。72日間のとこなめ芸術祭2022が大成功となることを願います。

8月3日には、市の初任者研修を行いました。対象は新任教諭18名で、教育長、指

導主事の講話の後、今年度は3名のスクールソーシャルワーカーにお願いをして事例検討会を行いました。初任者たちが4つのグループに分かれて活発に話し合いを行う姿が見られ、スクールソーシャルワークを深める意義深い研修となりました。

4日には、知教協幹事会に出席しました。議事はありませんでしたが、事務所から来年度へ向けた人事関係の面談日程や来年度の知教協や幹事会等の計画案が示されました。また事務所長からは、知多地方体育大会が熱中症による救急搬送もなく、無事に終了したこと、教員採用1次試験も新型コロナによる欠席者がいたものの、何とか終了したとの報告がありました。なお、2次試験は本日行われております。市内で活躍している講師の方々が一人でも多く合格することを願っております。

10日は、いじめ問題専門委員会を開催し、ここ数年の市内の学校で発生したいじめ件数や被害状況のデータについて報告し、委員からご意見をいただきました。いただいた主な意見としては「いじめが解消しないまま年度をまたいでしまった事案についてもデータとして示すべきである」、「家庭向けのいじめ防止啓発リーフレットは、現在のような両面印刷ではなく片面印刷にし、内容もより分かりやすく家庭内に掲示しやすいものにすべきである」などがございました。早速、取り組んでまいります。

報告は以上でございます。本日の定例会は、2つの議案と1つの報告が予定されております。また、定例会後は総合教育会議もでございます。よろしくお願いいたします。

7 議題 付議事件

議案第1号 令和4年度常滑市教育委員会点検及び評価報告書について

各所属（施設）長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員：拝見した感想になりますが、体力テストの結果についてですが、常滑市の子どもたちの結果が男女ともに全国平均よりも低く、また、年を重ねるごとに低くなっていることに驚きました。最近、部活動が縮小となったり、陸上大会が廃止になったりしたことや、子どもたちがテレビゲームやスマートフォンを利用する事が多くなって屋外で遊ぶことが少なくなったことなどを考えると、とても危機感を感じました。また、GIGAスクール構想の取組みについてですが、非常に多額な投資がなされたものになります。私も学校訪問で、学校にあるタブレットや電子黒板を拝見させていただきましたが、これらの情報機器を学校の先生方が使いこなしているのかは気になっている点です。そのあたりのサポートとしてICT支援員が配置されていると記載してありますが、その詳細について教えていただきたいです。

学校教育課付課長：ICT支援員の活用は各学校において活発に行われております。例えば、夏休みの時間を利用して各学校でテーマを設けて研修を行っているという報告を聞いております。普段は、授業の中で困ったことが起きた時の支援が中心となっていますが、この長期休業期間においては、各先生のスキルアップにつなげる取組ができたのではないかと

思います。いずれにしても、ICT支援員による支援は非常に重宝しております。学校の先生からも「ぜひとも継続してほしい」、「人数を増やしてほしい」などの要望もいただいています。

学校教育課長：ICT支援員に向けて学校の先生方から出された質問も、Q&A集にまとめて、端末を通じて各学校が共有できるような体制にもなっておりますので、非常に重宝しております。

教育長：ICT支援員に直接聞くことができないときでも、端末を通じてやり取りをすることが可能で、ICT支援員が来校する日でなくても、基本的には支援を受けられるような体制になっていると聞いています。ただその一方で、操作方法を習得したり、そのための研修を受けたりしなければならなくて、逆に多忙になっているという記事が教育新聞に書かれており、そうした側面の確かにあると正直思いましたが、それでも今の子どもたちにとってはいいことであると思います。あと、これは私が個人的に感じた子どもたちへの印象ですが、常滑市の子どもたちは端末を利用して、他の子の悪口を書いたり、関係のないサイトにアクセスして端末を趣味のことで使ったりするケースが少ないように思います。もちろん、その辺りはセキュリティがかかっているとは思いますが、常滑市の子どもたちの気質でもあるのかなと思いました。

委員：学校給食の今後の取組みのところですが、「安全・安心な給食を提供するため、食材の選定や衛生管理の十分な注意をする」と記載されておりますが、昨年度から、異物混入の話がいくつかありました。新給食センター開業までまだまだ期間がありますし、機械の保守・メンテナンスをこれまで以上にしっかりと行っていただき、二度と起こらないようにしていただきたいと思いました。あと、お聞きしたかったことは、本議案の報告書に学識経験者2名が記載されておりますが、この2名の選定理由について教えていただけないでしょうか。

学校教育課長：1名は大学等の学識経験者の枠として、名古屋大学の准教授で愛知県では教育委員も務められている河野先生にお願いしております。もう1名の佐々木先生は、元常滑中学校で校長会長も務められていた方で、常滑市内小中学校のことを熟知している元小中学校長の枠としてお願いしているものです。

委員：報告書の学識経験者の意見のページを拝見させていただいて感じたことですが、元校長先生として常滑を熟知している方だと思うので、とても参考となる意見を聞くことができる一方で、あまり教育委員会の施策に対して辛口な意見が言いづらいのではないのかなと個人的には感じました。他で元小中学校長を学識経験者に採用している例をあまり聞いたことがなかったので、選定理由をお聞きしました。このことについては、今後、検討していただければいいのかなと思いました。

教育長：ありがとうございます。これまでも伝えていることではありますが、

改めて、学識経験者のお二人には、遠慮せず本音で評価を行っていただく旨を伝えていきたいと思えます。

委員：感想になりますが、先ほど渡辺委員もお話ししていた体力テストについては、どうにかしないといけないと思う一方で、正直時代なのかなとも思いました。私の孫を見ていても外にほとんど出ませんし、最近外に出るのも熱中症などの問題がついてきます。何より他の友達も外に出てこないし、家に遊びに行くこともないみたいです。私たちの子どものときと違って、今は体を動かす機会が極端にないと思えます。その辺りが見ていて心配になってきます。また、個人的に問題になるのかなと思っていたのは、図書館についてですが、それも報告書においては全体的に悪い評価がなかったみたいで、実際に市役所のこども図書室は、子どものいる家族によく利用されているみたいですので、スムーズに受け入れられたのかなという印象です。あと、コミュニティ・スクールは今年度から全小中学校で導入したということで、学校によっては運用に悩んでいるとも聞いていますが、この辺りは来年度にどのように評価されるのかが気になっているところです。

委員：私も感想になりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大でできることがとても少なかった年で、そういう意味では令和3年度の評価は比較できるものが少なく苦労したのではないのでしょうか。令和3年度は少しずつ事業もできるようになって、個人的には給食センターの子どもスマイル応援事業で、子どもたちは前を向いて黙食をしなければいけない中で、食べる楽しさを提供できたので、子どもたちの気持ちの成長につながっていければと思っています。また、今年度はコロナが再燃している中でも多くの事業を継続して行っているみたいなので期待したいと思えます。それと、GIGA スクールの端末の話がありましたが、教育長が先ほどお話ししたように、子どもたちにとってはいいことだと思っています。ただその一方で、目が悪くなる懸念がありますし、体力テストの件でいえば、体を動かす機会がないことから肥満等の体の健康面にも関係が出てくるのではと思いますので、そうした検証等についてもまた教えていただければと思います。

委員：報告書に記載されている「公共施設アクションプラン」について具体的にどういったものか教えてください。

生涯学習スポーツ課長：市内の公共施設を今後どのように維持していくのかをまとめた計画でして、教育委員会が所管するものだけでなく、全ての公共施設が対象になります。これまで行ってきた維持管理では、常滑市の財政がもたないことが明確でして、常滑市は特に競艇による収入が多かった時代に一気に公共施設を増やした経緯もあり、これから対策していく必要があります。施設を複合化できるものは複合化し、優先順位を決めて廃止できるものは廃止していく等、そうした検討を行

い、まとめた計画になります。その計画では、文化会館・中央公民館、図書館は複合化する事になっておりまして、前期、中期、後期の計画期間のうち、中期の中で複合化することになっています。市内全体の公共施設の20%を削減しないと財政がもたないということなので、必ず実施しなければならないものと捉えています。その後コロナの感染拡大が起こり、より財源の確保が難しい状況となってしまったので、計画の見直しする必要が生じるかもしれませんが、今のところは中期での予定となっています。

教育長：他に何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第2号 常滑市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について

北学校給食共同調理場長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますか。

委員全員：異議なし。

「可決」

報告第1号 令和4年度常滑市表彰条例等による表彰候補者の内申について

学校教育課長：資料に基づき説明。

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何か質問はございませんか。

委員：表彰区分の「文化の振興に15年以上指導的役割を果たし、特に功績が顕著な者」の中で、武豊町に在住の方がいますが、これは市内在住でないものの「常滑市の地域団体に所属して指導的役割を果たした方」という理解でよろしいでしょうか。

生涯学習スポーツ課長：そのとおりです。

教育長：他に何か質問はございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

8 その他（諸報告について）

・教育委員（会）行事連絡（8月～10月）

学校教育課長より資料に基づき説明。

「了承」

・常滑市教育振興基本計画について

教育部長：この後 15 時からの総合教育会議で議題とさせていただくもので、その時に詳細の説明はさせていただきます。趣旨としましては、昨年の総合教育会議では、市長と教育委員の皆様との協議を経て第 2 次常滑市教育大綱を策定させていただきました。大綱は憲法のように基本的なことが書かれているものですが、今回は、その大綱に基づき具体的な取組みを行っていくための計画の策定を検討しておりまして、今年中の策定をめざして、次の総合教育会議の場で初めて示すことになるものです。よろしくお願ひします。

学校教育課長：その総合教育会議では、教育委員の皆様一人一人にご意見や感想を伺う予定をしておりますので、よろしくお願ひします。

「了承」

・野外教育活動の参加報告

学校教育課付主幹：8 月 3 日～9 日で小学 5 年生の野外教育活動が実施されました。コロナが再燃してきたことから、参加人数と不参加者数とその理由についてまとめさせていただいたものです。残念ながら行けなかった子もいるのですが、全小学校で無事終了することができましたので、ご報告させていただきます。

「了承」

・総合体育大会等の結果について

学校教育課付主幹：総合体育大会における県大会と東海大会の報告になります。一部の種目においては、コロナの関係で棄権となって残念だった部分もありましたが、各中学校の各種目において活躍が見られましたので、ご報告させていただきます。

「了承」

9 閉会

午後 2 時 43 分